



る う て る

2013年
11月
No.798

■発行所■
日本福音ルーテル教会事務局広報室
〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町 1-1
電話 03-3260-8631

■振替口座 ■00190-7-71734
■ウェブサイト ■http://www.jelc.or.jp
■E-mail ■jelc@jelc.or.jp

■発行人 ■徳野昌博 m-okuno@jelc.or.jp
■印刷人 ■明文堂印刷株式会社
■定 価 ■1部 40円 (郵税を含む)

説教 「わたしが道である」

日本福音ルーテル神水教会 角本 浩

「イエスは言われた。わたしは道であり、真理であり、命である。わたしを通らなければ、だれも父のもとに行くことができない。あなたがたがわたしを知っているなら、わたしの父をも知ることになる。今から、あなたがたは父を知る。いや、既に父を見ている。」ヨハネによる福音書14章1〜6節

最後の晩餐。その名の通り、この世で過ごす最後の食卓です。今日が最後という状況。私たちが経験することがあるかもしれませ

ん。たとえば、大切な人が旅に出なくてはならない。それも、ちよつとやそこらの旅ではなく、骨を埋めるつもりで遠い国へ旅立つとか。その日を前にして共にする夕食。あるかもしれませ

ん。SFストーリーなら、明日、世界が終わるなどという状況も、昔なら、本当にそれに行かされたのは、戦争に行く時ではないでしょうか。赤紙が来て、戦地へ行く。「バンザイ、バンザイ」と手を振って。その日の前夜、大切な息子さんをお送りするお母さんたち。どんな思いで、その夜の食事をしたでしょうか。普段は食べられないようなご馳走も、何とか用意したかもしれませ

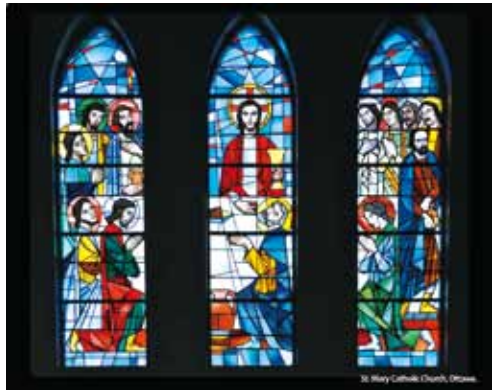
ん。あの日、弟子たちは、どんな心境だったのでしょうか。主イエスは言葉を続けられます。「心を騒がせるな。それはまさに弟子たちの心境を物語っています。彼らの心は、この状況の中で、騒いでいる。不安でいっぱい。

でも考えてみれば、私たちの心というのはいつも不安に押しつぶされそうな時間がいっぱい。一難去つてまた一難という言葉もあるとおり、私たちの心は、休まる暇がないのかもしれない。

最後の晩餐の席上で言われた「心を騒がせるな。わたしを信じなさい。」もこれによく似ています。

舟をひっくり返そうとする嵐ばかりを見ていると、心は騒ぎます。明日でおしまいだ、これが最後の晩餐だと思つて、心が騒ぎます。でも、主はそこでおっしゃいます。「安心しなさい。わたしは場所を用意して行くのである。あなたがたと一緒にいるために。信じなさい。」

でもそこで思い起こしたい。「安心しなさい。わたしは場所を用意して行くのである。あなたがたと一緒にいるために。信じなさい。」と



その最後の晩餐の席上でのこと。いろいろな思いを胸にしながら、主イエスは弟子たちと夕食を共にされました。主はその席で「心を騒がせるな」とおっしゃい

ます。あの日、弟子たちは、どんな心境だったのでしょうか。主イエスは言葉を続けられます。「心を騒がせるな。わたしを信じなさい。」もこれによく似ています。

でもそこで思い起こしたい。「安心しなさい。わたしは場所を用意して行くのである。あなたがたと一緒にいるために。信じなさい。」と

でもそこで思い起こしたい。「安心しなさい。わたしは場所を用意して行くのである。あなたがたと一緒にいるために。信じなさい。」と

でもそこで思い起こしたい。「安心しなさい。わたしは場所を用意して行くのである。あなたがたと一緒にいるために。信じなさい。」と

でもそこで思い起こしたい。「安心しなさい。わたしは場所を用意して行くのである。あなたがたと一緒にいるために。信じなさい。」と



わたしだ。恐れることはな

わたしがその道だとい

わたしがその道だとい

わたしがその道だとい

「教会手帳2014」

お申し込み先
北海道キリスト教書店 (TEL:011-331-1271/FAX:011-741-5979)
キリスト教書店(札幌) (TEL:011-264-4900/FAX:011-264-4911)
キリスト教書店(仙台) (TEL:022-264-4900/FAX:022-264-4911)
キリスト教書店(東京) (TEL:03-3260-8631/FAX:03-3260-8632)
キリスト教書店(大阪) (TEL:06-6771-2416/FAX:06-6771-2418)
キリスト教書店(福岡) (TEL:092-228-4914/FAX:092-228-4916)
キリスト教書店(神戸) (TEL:078-6771-2416/FAX:078-6771-2418)
キリスト教書店(名古屋) (TEL:052-228-4914/FAX:052-228-4916)
キリスト教書店(北九州) (TEL:093-228-4914/FAX:093-228-4916)
上記以外は各教会へ

定価 1,100円

宗教改革500周年に向けて ルターの意義を 改めて考える(19)

ルター研究所長 鈴木浩

ば、同一の本文が、ある時には律法として響き、ある時には福音として響くこともありうるのだ。

鈴木浩

神の戒めを破ってアダムが園の木の間に身を隠したとき、神は「あなたはどこにいたのか(創世記三・九、口語訳)と尋ねられた。アダムはこの呼び掛けを、自分を非難する律法と受け取った。

他方イエスは「九九匹と一匹の羊」の譬えて、「○○○、どこにいるのだと名前を呼んで、失われた一匹の羊を必死に探し回る羊飼いの姿を描いた。

どちらも神からの同じ呼び掛けだが、聞き方によって、律法として響くこともあれば、福音として響くこともあるのだ。

その際、律法と福音の違いは、形式以上に、内容の違いであった。だから、旧約聖書が律法で新約聖書が福音だということではない。

内容に即して言えば、旧約にも福音があるし、新約にも律法があり、もっと言えば

「福音」として響くこともあれば、福音として響くこともあるのだ。

「福音」として響くこともあれば、福音として響くこともあるのだ。

「福音」として響くこともあれば、福音として響くこともあるのだ。

「福音」として響くこともあれば、福音として響くこともあるのだ。

「福音」として響くこともあれば、福音として響くこともあるのだ。

「福音」として響くこともあれば、福音として響くこともあるのだ。

「福音」として響くこともあれば、福音として響くこともあるのだ。

「福音」として響くこともあれば、福音として響くこともあるのだ。

「福音」として響くこともあれば、福音として響くこともあるのだ。

「福音」として響くこともあれば、福音として響くこともあるのだ。

「福音」として響くこともあれば、福音として響くこともあるのだ。

「福音」として響くこともあれば、福音として響くこともあるのだ。

「福音」として響くこともあれば、福音として響くこともあるのだ。

「福音」として響くこともあれば、福音として響くこともあるのだ。

「福音」として響くこともあれば、福音として響くこともあるのだ。

「福音」として響くこともあれば、福音として響くこともあるのだ。

「福音」として響くこともあれば、福音として響くこともあるのだ。

「福音」として響くこともあれば、福音として響くこともあるのだ。

「福音」として響くこともあれば、福音として響くこともあるのだ。

「福音」として響くこともあれば、福音として響くこともあるのだ。

「福音」として響くこともあれば、福音として響くこともあるのだ。

「福音」として響くこともあれば、福音として響くこともあるのだ。

「福音」として響くこともあれば、福音として響くこともあるのだ。

「福音」として響くこともあれば、福音として響くこともあるのだ。

「福音」として響くこともあれば、福音として響くこともあるのだ。



カンボジア・ワークキャンプ2014

参加者募集 締め切り迫る!

2014年2月12日(水)~22日(土) 11日間
■対象: キャンプ実施時点で18歳以上の健康な方(高校生不可)
■募集人数: 5名~10名程度(人数調整のため選考があります)
■内容: 現地の団体の活動支援と交流、学校校舎修復や設備設置、キリング・フィールド等の歴史的に著名な土地や博物館訪問など。
■参加費: 12万円
■申し込み締切: 11月5日(火)必着
■詳しくは JELA ホームページで http://www.jela.or.jp



東京で

去る9月14日土曜日の
昼下がり、日本福音ル
テル教会宣教百年記念会
堂において、日本聖公会
と日本福音ルテル教会
が合同礼拝をもちまし
た。東教区浅野直樹教区
長の主司式のもと、日本
聖公会東北教区に加藤博
道主教に説教をいただ
き、それぞれの教区聖歌
隊をはじめ信徒、教職の
方々のご奉仕を得て、大



広島で

去る9月14日(土)に、
日本福音ルテル東京教
会において、第2回目と
なる日本福音ルテル教
会・日本聖公会合同聖餐
礼拝が約150名の出席
を得て実施されたとお聞
きました。

そしてその翌日となる
9月15日(日)に、ここ
広島の中でもルテル広
島教会と広島復活教会

変患まれた礼拝となりま
した。礼拝後には両教会
のエキクメニカルな関係
についての学びとすばら
しい交わりのときが与え
られました。

聖公会とルテルの国
際的な対話の諸文書が翻
訳出版されたのが二〇〇
八年。記念として、その
ペンテコステ主日の午後
に、初めての合同礼拝が
日本聖公会聖アンデレ教
会で行われました。その
後も委員会レベルでは聖
餐に関する学びや交わり
を重ね、また震災後の被
災地支援の働きでも協力
を進めて来ました。神学
校でも継続的な交わりを

持ち、両教会の若い牧師
たちにそれぞれの地域で
の協働を育む素地を作っ
て来ています。

5年前の礼拝も、今回
も聖餐礼拝を祝うことが
出来ました。教派を超え
たエキクメニカルな礼拝
で聖餐を祝うことは、「見
える一致」として望まれ
る姿であるにも拘らず、
簡単に実現出来ません。
日本聖公会と日本福音
ルテル教会は、それぞ
れユーカーリスティック・
ホスピタリティといっ
て、自分の教会の聖餐に
他教会での受洗者を招く
実践があります。その考
え方に基づき、神学的な

「完全な一致」の議論に
先立ち、実践的な「見え
る一致」を可能としまし
た。こうしたやり方は世
界的にも大変意義深い取
り組みです。

来年は、カトリック教
会のエキクメニカル教令
50周年ということで、カ
トリック、聖公会、そし
てルテルの三教会合同
の礼拝も考えられています。
キリスト教会が一つ
になって礼拝を祝う。来
る宗教改革500年の記
念も含めて、教会は世界
にむけて一致や平和の
メッセージを発信出来る
のではないのでしょうか。
そのためにも、こうした



交わりを各地域で展開し
てゆきたいものです。
ルテル学院大学教授
石居基夫

(聖公会)の第2回合同
聖餐礼拝が、両教会から
約80名集まって行われた
ことは、神さまの奇しき
御業と思わざるを得ない
出来事でした。

神学教育における交流等
を積極的に行うことが表
明されました。

聖公会では教区レベル
でもルテルとの協働を
積極的に行うように指示
が出されていたようで
す。ですから私がこの4
月に広島に着任後、聖公
会を敬訪問した際に、
すぐに今回の話がまとま
りました。そして実は、
2011年6月5日に第
1回の合同聖餐礼拝が既
に広島で実施されていた
ことも知りました。但し
その後、なぜか交流が続
かなかつたとのこと、
これを機会に改めて継続

本教会レベルでの聖公
会との対話は長年続けら
れてきましたが、その結
実として日本聖公会は2
002年総会において、
「日本福音ルテル教会
との協働に向けた提案」
を承認し、洗礼及び聖餐
の相互承認、eucharistic
hospitality(聖餐におけ
る相互の友好的な歓迎、
講壇交換、またお互いの
礼拝を体験しあうこと、

これを機会に改めて継続

また現在、広島では聖
公会とカトリック教会が
合同で8月に平和ミサを
行っています。今後はそ



れにルテルも参加す
る形でエキクメニカル
な協働を広島で更
に展開できればと願っ
ています。
広島教会・松山教会牧師
伊藤節彦

JLER(ルテル教会救援) 対策本部 現地からのレポート JLER派遣牧師 野口勝彦

ルテル教会救援の諸
活動も残り5ヶ月となり、
これまでの支援活動の成
果が具体的な形となって
表れています。

落成式の中では、経過
報告や祝辞等の他に祝宴
がありました。祝宴では
地域でお馴染みの方々の
踊りが披露されました。
お越し頂いた支援者の
方々にも盛り上がりつつ
いたりましたが、地域
の人たちからすると、
この踊りをこのマリ
ンセンターでみるこ
ろが、前浜住人の司会者
は「これをするためにセ
ンターを建てました」と
やとやりたいたことを
まじえてきたという言葉
でも感動的な時間でした。
前浜マリ
ンセンターで
すが、世界中のた
くさんの想いが詰ま
った宝箱です。その
想いを伝えられ
るように、たく
さんの方にお
越し頂ければ
と思います。本
当にありがとうございます。
ごぞいました。

【コミュニティセンター再
建支援】
聖地、前浜、スタッフ、島山友美子

ルテル教会救援の皆
様を始め、多くの方のご
支援を頂き、気仙沼市本
吉町前浜地区のコミュニ
ティセンター「東日本大
震災復興記念 前浜マリ
ンセンター」の落成式が
9月15日に行われました。
天候が不安定な中、落成
式には支援者の方や地域
の方等約200名が集ま
りました。



【共同利用倉庫再建支援】
チーフ・スタッフ 佐藤文敬

ルテル教会救援では、
2012年9月から石巻
市の牡鹿半島の付け根近
く、宮城県漁協石巻地区
支所管轄の10か所の浜で
共同利用倉庫の再建支援
を進めてきました。震災
前には共同作業をする際
に使う道具や資材などを
保管する倉庫が各浜に
あったのですが、津波で
すべて流されたため、震
災後に新しく買い揃えた
道具や資器材も野ざらし
にしておくしかない状況
になっていました。
そうした状況をなんと
かしようとドイツ・ル
テル教会のDKH(ドイツ
ニア災害救援部)から
の支援を受けて再建を進
めてきたのですが、漁港
の修繕工事の遅れに伴い、
なかなか進みませんで
した。
しかし、ようやく予定
している10棟のうちの8
棟が完成し、9月15日
にはドイツDKH担当者の
ミヒヤエル氏も完成した
倉庫の見学に来られました。
その日は漁協の代表
者の方から震災当日の
お話や復興の現状など
をお聞きした後、倉庫に
設置するネームプレートの
贈呈式を行いました。



JLERブログ
「ルテルとなりびと」
http://lutheran-tonaribi
to.blogspot.jp/



第三章「家庭の食卓」から その一 なつかしい「食卓での会話」

ジュネーブのルーテル世界連盟・世界宣教部および神学研究部で通算一五年勤めたが、一九六七年十月下旬、ウィッテンベルグ市の宗教改革四五〇周年記念祝典参加に先立つ一週間を、アイゼンナッハから北上、その途次ライプツヒを訪れて祝典に辿り着くという今でも思い出に残る(当時

は東独での)旅路。パツハゆかりのトマス教会を埋め尽くした壮大な記念礼拝参与について深く脳裡に残るのはウィッテンベルグのルターハウス、「ルターの部屋」で見た『卓上語録』のあの大きな食卓。一九八〇年の家族旅行でも再び訪れ、都合三回は見届けて、その版画は目前の本棚に据わりついている。

一五四〇年九月一七日、ヨハン・マテシウスが記録したルターの卓上語録。「牧師や説教家は、いったい政府を叱責する力をもっているものかどうかについてマルチン・ルター博士に尋ねたとこ

きか、信ぜざるべきか、あるいは、ひそかに呪うのかどうかを強制的に調べようがない」とも語っている。

いつの世でも宗教と政治、教会と国家の関係は重大な課題。ルターにも『この世の権利について、人ほどの程度までこれに對し服従の義務があるのか』(一五三三年)ほか多くの著作もあり、研究者の間で「二王国統治論」や「律法と福音の論議がルター神学にとって重要であり続けることも事実だ。ただそのような神学的課題が、円卓会議どころか、それ

こそ身辺事よろしくルター家の食卓を囲んだの話題であったことにもせひ着目したい。アリストレスの「逍遙派」や孔子の「論語」と比べても興味ぶかい。

百巻を超える『ルター著作全集・ウィマル版』のうち、六巻にも亘って七千余のルターの語録が収められ、その『卓上語録』には牧会者ルターの面目躍如たるものがある。



水の流れ

スタンドグラス工房 アスカ
山崎種之松本教会会員)

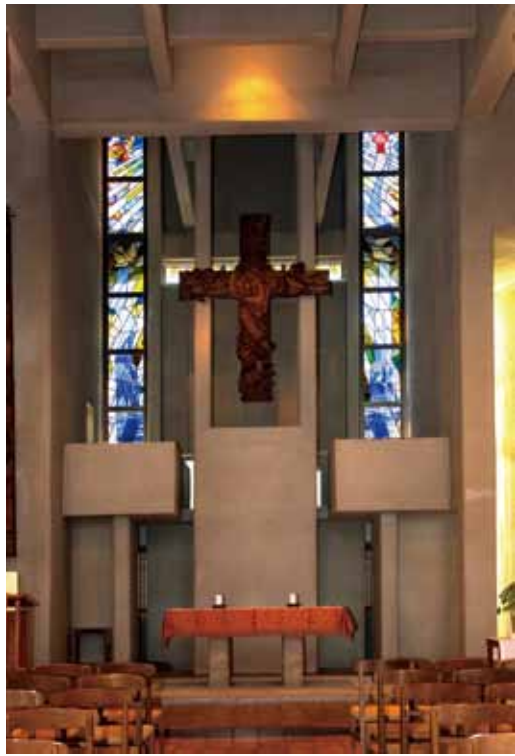
集中豪雨などの地表をすべる水は大きな災害をもたらします。本来の水の流れはおだやかです。大自然の山々に降る雨や雪は巨大な三角錐の中にしみこみます。安曇野の高嶺には11月頃から積雪があり、積算すると二十メートルを超えます。半年かけてゆっくり溶け、岩間にしみこみ、人の血管のように、地下の水管をたどりま。

その水は生きとし生けるものすべてを生かし育み支えます。主イエスは言われました。渴いでい

る人はだれでも、わたしのところに来て飲みなさい。わたしを信じる者は、その人の内から生きた水

が川となって流れ出るようになる(ヨハネ福音書7章37〜39節)。ルーテル学院大学・神

学校のチャペルには、この主題のもとに新しいスタンドグラスが9月27日に奉獻されました。



西教区五十年記念大会 盛大に開催

九月二十二日(二十三日、大阪教区を会場に)西教区五十周年記念大会が西教区女性会修養会と合同という形で開催されました。二十一日午後四時から

女性会修養会の開会礼拝を皮切りに、聖公会新職候補生天岡佐代子氏から「一人ひとりが大切にされて

いますか」という題で、ジェンダーに関わる教会の課題について学びました。たくさん男性も参加していただき、百名を超える方々が、講演に目を傾け

ました。

午後七時からは遠方からの仲間と共に総勢九十名を超える方々とホテルの宴会場で懇親会を開催しました。教区が五十周年を迎えるというこ、それは、一つひとつの交わりに感謝することであること

を教えられました。翌日、午前十時から記念大会の基調講演は徳善義和牧師。テーマは、ずばり「いつやるの、今でしょ!」

というテーマで、これまでの五十年と、そして何よりもこれからの五十年を、ルターの言葉を手掛かりに二百名をこえる方々と学ぶことができました。「たとえ明日世界が滅びても

わたしは今日りんごの木を植える。ルターの真正の言葉であるかどうかは別として、まさにルターらしい生き方の響きがここに

を植えたい。希望を生きて、改め

てくださったことを感謝する時も持つことができました。

記念大会のもう一つの山である、派遣礼拝は、教区内のすべての教会のパナが参集し、十七名すべての教職による礼拝となりました。

新卒、最年少の竹田大地牧師の説くみ言葉は、教職と信徒が「み言葉の場」を作るということを確認する時となり、西教区が今後「み言葉の教会」として歩むことを心に刻む時となりました。(実行委員長 松本義宣)



2013年「宣教会議」報告

「この宣教会議では、課題認識を共有し、それに対してどのような対策が必要なのかを議論し、できる限り具体的な取り組みを見いだすことを狙いとする。」

立山忠浩総会議長が冒頭に会議の狙いを述べて第25期では2回目となる宣教会議は始まった。出席者は各教区常議員より3名ずつ、加えて本教会四役、信徒選出常議員と各室長の合計22名。

二日間を四つの会期に分けて、第2会期では、二〇一二年全国総会で採決された広範な「第6次総合方策」のうち、優先的に推進してきている三つの主要課題に対する取り組みの報告がなされた。最初は、東日本大震災へのルーテル教会支援の振り返りとこれから、青田対策本部長はスラ

イドを交えて、震災当日からこれまでの足跡を説明した。続いて白川氏は宣教室長として、2017年に向けた宗教改革500周年記念事業計画の、ここまでの取り組み概要を説明した。ここで、しばし全体での意見交換が行われた。

はじめに青田管財室長から日本の人口動態推移、会員構成、基礎収入及び維持献金と教職給与との対比等、種々の説明がなされた。今回は、立山議長の発案により、各個教会の財政状況から将来を予想する目的で、事前に各教区で集計と分析作業をしてもらっていたので、この全国15の教会を抽出したデータ結果を持ち寄り、討議に臨んだ(詳細は、後日発行の報告書参照)。

第一会期は、各室長による発題で、徳野広報室長は「機関紙のうてる」の充実を一層図るために、各教区、各個教会からの積極的な情報提供が不可欠であること、加えてインターネットによる情報発信に同じ担当者確保について提言がなされた。総務室と宣教室を兼ねた発題として白川室長からは、所謂「教職の大軍引退試算、教職の兼任状況、学校/幼保/施設等の兼務率」といった教職の基礎動向が説明され、その上で、教職数には制限を設

けるのが良いのか? 教職の他法人における働きを積極的に定義すべきか? との発題があった。引き続き第2会期では、後藤由起牧師より、米国留学の学びについて発表していただいた。「宣教」の分野、特に教会の成長やリーダーシップに焦点を当てた研さんを深められてこれ、その成果は今後、現在の任地で、そして、広く日本福音ルーテル教会に分かち与えられることになるだろう。

最後の第2会期は、出席者全員がそれぞれに二日間の討議から感じ取った問題提起と対策案を述べた。そして会議は閉会礼拝をもって終了した。今後、この会議で課題が常議員会に求められていくことになる。

なお今回の会議は、従来の二泊三日から短縮を図り、9月30日〜10月1日にかけて、東京教会と市ヶ谷センターで開催した。従前の実質審議時間は保ちながら、二日間で開催する模索であったが無理なく実施できたとの感想をもった。

宣教室長 白川進生

【2013年度 ルーテル連帯献金のお祝い】

金は以下の働きのためとなっており、私たちが祈ります。

上記献金の送金先「連帯献金」を献付けてくださる場合には、それぞれの献金の目的を郵便振替用紙に明記して、以下の口座に送金してください。

社会福祉法人 居るつてるホーム

十月十四日(月)秋晴れの中、居るつてるホーム竣工式が行われました。昨年の十月二十六日の起工式の時のまったく何も無い場所から、一年でこの日を迎えることができたことを神さまに心から感謝したいと思います。

竣工聖別礼拝は、理事である永吉秀人牧師が司式をしてくださいました。説教は、前ルーテル社

築に多大な貢献をしてくださった株式会社双葉建設、株式会社フジタ大阪支店に対して感謝状をお渡ししました。



会福祉協会会長であった内海望牧師から「キリストの愛に包まれて」という題でみ言葉を頂きました。

この日まで多くの方々に支えられて、今日がある一日となり、これから

ますよう、よろしくお願ひ申し上げます。 常務理事 石倉智史